

# 会議結果のお知らせ

## 1 開催した会議の名称

令和2年度第2回岩手県公共事業評価専門委員会（現地調査）

## 2 開催した日時

令和2年7月13日（月） 8：50～16：00

## 3 開催場所

- (1) 広域河川改修事業二級河川気仙川 住田町
- (2) 都市計画道路整備事業盛岡駅本宮線 盛岡市

## 4 出席委員

小笠原敏記専門委員長、泉桂子副専門委員長、石川奈緒委員、清水真弘委員、谷本真佑委員、武藤由子委員（6人中6人出席）

## 5 調査概要

### （1）広域河川改修事業二級河川気仙川（住田町）

河川課から事業内容について説明を受けながら、現地の状況の調査を行った。  
併せて、第1回公共事業評価専門委員会での確認事項に関し補足説明があった。

#### ■ 専門委員からの主な質問及び意見は、次のとおり

（質疑）： 令和元年度末の氾濫浸水エリアは、東日本大震災津波の復旧事業による嵩上げなどが反映されているものなのか。

（回答）： 反映されている。

（質疑）： 被害額の便益の算定において、一般資産被害額が今回大幅に増となっている理由は何か。

（回答）： 家屋評価額の増、延べ床面積の増などによるもの。

（意見）： 次回委員会において、一般資産被害額の算定の詳細な内訳を示すこと。

（質疑）： 農作物被害額が増となっている理由は何か。

（回答）： 農地面積が増となったことによるもの。

（質疑）： 工事の施工順番はあるのか。

（回答）： 陸前高田市分は下流から工事を着手している。住田町分は、橋梁施工箇所や周辺の重要施設がある箇所を優先的に施工することとしている。

### （2）都市計画道路整備事業盛岡駅本宮線（盛岡市）

都市計画課から事業内容について説明を受けながら、現地の状況の調査を行った。  
併せて、第1回公共事業評価専門委員会での確認事項に関し補足説明があった。

#### ■ 専門委員からの主な質問及び意見は、次のとおり

（質疑）： 交通事故減少便益がマイナスな理由は何か。

（回答）： 杜の大橋が無い状態から4車線で整備した場合、交差点数が従前より増えるため、計算上マイナスとなるもの。

（質疑）： 走行時間短縮便益は、どのように算出しているのか。2車線から4車線になったこ

とでどのような算出となるのか。

(回答)： 車線数が増えることで、交通容量が増加し、通過する車両の旅行速度が上昇する。  
また現況は、対面通行であるが、中央分離帯で上下線が分離されるので旅行速度は上昇する。

(質疑)： 評価調書で示された4車線全体の場合では費用便益比が減少したが、今回示された暫定2車線から4車線に整備した場合は、費用便益比が増加する理由は何か。

(回答)： 第Ⅱ期事業のみで算出する場合、費用項目に大きく影響する第Ⅰ期事業の事業費が含まれないことから、費用便益比が増加したものである。

(質疑)： 計画交通量と、現況の交通量はどのくらいか。

(回答)： 暫定2車線の計画交通量は10,587台/日。現況交通量は、平成27年の交通センサスで15,475台/日となっており、増加傾向となっている。

## 6 会議資料

|          |                          |
|----------|--------------------------|
| 資料 No. 1 | 現地調査行程表                  |
| 資料 No. 2 | 現地調査個所位置図及び平面図           |
| 参考資料     | 令和2年度第1回公共事業評価専門委員会の審議概要 |

※ 会議資料については、行政情報センターへ配架するとともに、県のホームページに掲載します。  
(現地調査のため、会議録の作成はありません。)

## 7 傍聴人数

一般 1人 報道 2社

## 8 問い合わせ先

盛岡市内丸10番1号  
岩手県政策企画部政策企画課 TEL：019-629-5181 FAX：019-629-6229

## 9 アドレス

<http://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/hyouka/koukyouhyouka/1029834/1031373.html>

## 10 その他

政策等の評価について御意見がありましたら、上記問い合わせ先まで FAX 等でお寄せください。  
今後の専門委員会での審議の参考とさせていただきます。